

第3次千葉県青少年総合プランの進行管理・評価について

第3次プラン（案）	第2次プラン
<p>（1）関連事業の進行管理</p> <p>○関連事業実施計画（H30：144事業） 再掲を除く</p> <p>○関連事業実施結果</p> <p>（2）関連指標（数値目標）の進捗管理[新]</p> <p>○関連指標の進捗状況（14指標）</p> <p>（3）評価</p> <p>（青少年問題協議会における外部評価）</p> <p><u>全事業の中から重点事業（30事業程度）※</u> の評価シートを作成し、委員から意見を聴取</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>青少年問題協議会での意見交換を実施 （10事業程度）</p>	<p>（1）関連事業の進行管理</p> <p>○関連事業実施計画</p> <p>○関連事業実施結果（H29：114事業）</p> <p>（2）評価</p> <p>（青少年問題協議会における外部評価）</p> <p><u>6つの重点方策に掲載されている事業</u> <u>（H29：68事業）</u>の評価シートを作成し、 委員から意見を聴取</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>青少年問題協議会での意見交換を実施 （10事業程度）</p>

※第3次千葉県青少年総合プランの重点事業は、下記を目安に決め、原則計画期間中は、同一とする。ただし、社会の変化や事業の見直し等により、必要な場合には追加・修正を行う。

- ・ 関連指標（数値指標）の進捗に、特に関連する。
- ・ 法律や制度の変更が予定されていたり、社会的に大きな問題となっている。
（成人年齢の引き下げ、道徳の教科化、いじめ、自殺等）
- ・ その他、青少年施策の推進にあたり核となる事業。

第3次千葉県青少年総合プランの評価について（案）

ア 重点事業の評価について

区 分	内 容	備 考
評価対象 (外部評価)	<u>重点事業（30事業程度を選定）</u>	評価対象を絞り質を高める。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価シートを担当課で作成 ・外部評価（青少年問題協議会委員からの意見聴取及び意見交換の実施） 	計画事業に対する外部意見を聴取する。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・委員意見を事業担当課にフィードバック ・千葉県ホームページに評価シートを公表 	事業の改善や次年度事業に生かす。

イ 重点事業評価スケジュール

時 期	実施事項	備 考
5～6月	・事業担当課にて事業評価シートを作成	
7月	・委員あて事業評価シートの送付し、意見等照会	
8月	・事業担当課に委員意見をフィードバックし、回答を作成。	
8月下旬～ 9月上旬	・「青少年問題協議会」において委員と事業担当課の意見交換を実施（10事業前後）	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員との意見交換を踏まえ、事業担当課において回答を再検討。 <li style="text-align: center;">↓ ・千葉県ホームページに、委員意見及び担当課回答を公表。 	

第3次千葉県青少年総合プラン 重点事業(案)

方策	事業No.	事業名	関連指標	担当課
I-1-① 社会を生き抜く力の育成	1	ちばっ子「学力向上」総合プラン	○	教)学習指導課
	7	消費者教育啓発事業		くらし安全推進課
	11	道徳教育推進プロジェクト事業		教)学習指導課
I-1-② 健康と安心の確保	16	いきいきちばっ子食育推進事業	○	教)学校安全保健課
I-2-③ 子ども・若者の社会参加の促進	31	次世代ボランティア人材育成事業	○	県民生活・文化課
	37-1	グローバル人材プロジェクト事業		教)教育政策課
	37-2	グローバル人材プロジェクト事業		教)学習指導課
I-2-④ 職業能力の習得/就労支援の充実	40	キャリア教育推進事業		教)生涯学習課
	43	小・中・高等学校のキャリア教育総合推進事業	○	教)学習指導課
II-3-⑤ 総合的な相談・支援体制の整備	51-1	子ども・若者育成支援推進事業(協議会)		県民生活・文化課
	51-2	子ども・若者育成支援推進事業(相談センター)	○	県民生活・文化課
II-3-⑥ 様々な困難や配慮を要する状況に応じた支援の充実	55	不登校対策推進校の指定	○	教)児童生徒課
	56	教育相談事業の充実		教)子どもと親のサポートセンター
	57	いじめ防止対策等推進事業		教)児童生徒課
	58	千葉県公立高等学校学び直し支援事業		教)財務課
	59	学び直し支援事業		学事課
	60	ひきこもり地域支援センター事業		障害者福祉推進課
	61	ちば地域若者サポートステーション事業		雇用労働課
II-3-⑦ 子どもの貧困対策の推進	75	生活困窮者自立支援制度による子どもの学習支援事業	○	健康福祉指導課
	77	生活困窮者自立支援制度による自立相談支援事業		健康福祉指導課
II-4-⑧ 非行・犯罪防止と立ち直り支援	88	青少年補導センター事業	○	県民生活・文化課
	91	少年サポート活動		警)少年課
II-4-⑨ 虐待・犯罪等の被害防止	100	市町村児童虐待防止ネットワーク機能強化事業	○	児童家庭課
	106	自殺対策推進事業		健康づくり支援課
III-5-⑩ 多様な主体による取組の推進と連携	108	青少年相談員設置事業	○	県民生活・文化課
	113	青少年指導者育成事業		県民生活・文化課
III-5-⑪ 家庭・学校・地域の連携	119	学校を核とした県内1000か所ミニ集会	○	教)生涯学習課
III-6-⑫ 子ども・若者を守る環境の整備	125	青少年の社会環境づくり事業	○	県民生活・文化課
	127	防犯ボランティア活動促進事業		くらし安全推進課
	132-1	ちばっ子安全・安心推進事業		教)学校安全保健課
	132-2	ちばっ子安全・安心推進事業		警)生活安全総務課
III-6-⑬ 情報化社会への対応	136	青少年ネット被害防止対策事業	○	県民生活・文化課
	138	サイバー犯罪対策の推進		警)サイバー犯罪対策課
	139	情報教育の充実		教)学習指導課
III-6-⑭ 子どもを育てる環境の整備	144	子育て応援!チーパス事業	○	子育て支援課

(参考)【様式等】

第3次千葉県青少年総合プラン関連指標進捗状況(〇年〇月時点)

I-1-① 社会を生き抜く力の育成	[主体的な学びの推進] 授業で、話し合い活動がしっかりとできていると考えている児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>					目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H29)	()	()	()	()	()	()	
	小学校6年生 77.0%							
	中学校3年生 72.0%							
I-1-② 健康と安心の確保	[基本的生活習慣の形成] 朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>					目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H29)	()	()	()	()	()	()	
	小学校6年生 95.2%							
	中学校3年生 92.2%							
I-2-③ 子ども・若者の社会参加の促進	[ボランティアへの参加促進] ボランティアとして活動したことがある若者(20代)の割合 <県政に関する世論調査>					目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	40%							
I-2-④ 職業能力の習得/就労支援の充実	[キャリア教育の推進] 職場体験・インターンシップを実施している公立学校の割合					目標	中学校 100% 高校 90.0%	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	中学校 97.2% 高校 88.9%							
II-3-⑤ 総合的な相談・支援体制の整備	[総合的な相談・支援体制の整備] 千葉県子ども・若者総合相談センターにおける相談件数 ※面接相談はH29から開始					目標	増加を目指します (潜在的なニーズの掘り起こしを継続的に実施)	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	相談件数 733件 (うち面接相談件数) 0件							
II-3-⑥ 様々な困難や配慮を要する状況に応じた支援の充実	[不登校・中途退学への対応] 公立高等学校における不登校・中途退学生徒の割合					目標	減少を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	不登校 2.55% 中途退学者 1.27%							
II-3-⑦ 子どもの貧困対策の推進	[教育を受ける機会の均等] 生活保護を受けている子どもの高等学校等進学率					目標	県全体の高等学校等進学率に近づける	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	生活保護受給者 91.7% 県全体 98.6%							
II-4-⑧ 非行・犯罪防止と立ち直り支援	[非行防止活動の推進] 県下一斉合同パトロールに参加した市町村の数					目標	増加を目指します	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	25市町村							

Ⅱ-4-⑨ 虐待・犯罪等の被害防止	[地域における児童虐待への対応] 要保護児童対策地域協議会の設置数					目標	全市町村	[達成状況]
	基準年(H29)	()	()	()	()	()	()	
	53市町村							
Ⅲ-5-⑩ 多様な主体による取組の推進と連携	[青少年育成活動の推進] 青少年相談員が地域において実施する取組への青少年の参加者数					目標	増加を視野に入れ 160,000人以上 継続	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	164,233人							
Ⅲ-5-⑪ 家庭・学校・地域の連携	[学校と地域との連携] 教育課題について語り合う集いを地域住民と連携して企画・運営している学校の割合					目標	76.0%	[達成状況]
	基準年(H29)	()	()	()	()	()	()	
	66.7%							
Ⅲ-6-⑫ 子ども・若者を守る環境の整備	[有害環境の浄化] 千葉県青少年健全育成条例に基づく、立入調査の実施件数					目標	480件以上 継続	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	481件							
Ⅲ-6-⑬ 情報化社会への対応	[地域におけるネット被害防止対策強化] 青少年のネット被害防止対策(ネットパトロール)を実施している市町村数					目標	12市町村 以上	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	4市町村							
Ⅲ-6-⑭ 子どもを育てる環境の整備	[子育てをしやすい環境づくり] 「子育て応援!チーバス事業」協賛店舗数					目標	7,200店 以上	[達成状況]
	基準年(H28)	()	()	()	()	()	()	
	6,748店							

※達成状況は、下記のいずれかを記載

目標を達成	達成
基準年より上向き	改善傾向
基準年から横ばい	横ばい
基準年より下向き	悪化傾向

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業名		事業NO
担当課・室・班名	問合せ先(電話番号)	

1 事業の概要

柱	基本目標		基本方策			
事業内容						
当初予算額(千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
決算額(千円)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	
財源内訳	県単(○)	県単(○)	県単(○)	県単(○)	県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・※1県単独事業の場合は○を付けてください。
- ・※2財源の内訳を具体的に記載してください。

・事業内容に対する年度の実施状況をできるだけ数値等を交え、記載してください。

(2) 事業の成果

・基本目標や基本方策の達成に対してどの程度効果があったか、また、事業を実施したことによる影響、他の事業への広がり等について、できるだけアンケートや参加者の声等に基づいて記載してください。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・事業を実施する上での課題や、課題を解決するために取り組むべき方策等について、記載してください。

○参考

関連指標がある場合は進捗状況を記載してください。

関連指標	[]	目標				
	現状(基準年○)	(○年)	(○年)	(○年)	(○年)	(○年)

4 委員意見

5 担当課回答

・青少年問題協議会委員からいただいた意見を記載
(意見交換における意見も含む)

・委員意見に対する、担当課の考え方や今後の方向性などを記載。
(事業の改善や次年度事業に生かす)

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

		事業NO	51-2
事業名	子ども・若者育成支援推進事業(総合相談センター)		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅱ	基本目標	3	基本方策	⑤総合的な相談・支援体制の整備				
事業内容	千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を運営し、ニート・ひきこもり・不登校など子ども・若者(概ね39歳まで)及びその家族等からの様々な悩みを、専門の相談員が聞き、助言や必要な情報の提供、適切な支援機関の紹介を行う。								
当初予算額(千円)	30年度	16,015	31年度		32年度		33年度		34年度
決算額(千円)	30年度		31年度		32年度		33年度		34年度
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)		県単(○)		県単(○)
	○								

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・平成29年度は、千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」において1,313件の相談に対応した。(うち、238件が面接相談。)

・また、同センターにおいて、保護者向け勉強会(年6回)、関係機関向け連携会議(年6回)を実施した。

・千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」を紹介するためのリーフレット10,000部、ポスター1,000部を作成・配付した。また、県内の支援機関を広く紹介するリーフレットを20,000部を作成・配付した。

(2) 事業の成果

・平成29年度から新たに開始した面接相談は、子ども・若者の悩みを的確に把握しやすく、より適切な助言や支援先の紹介等がスムーズにできるようになった。

・保護者向け勉強会では、保護者が子どもとの関わり方を学ぶとともに、同じ悩みを持つ保護者が情報交換等を行う機会を提供した。また、関係機関向け連携会議は、延べ54機関が参加し、事例の検討を通してお互いの機関の特徴等を知るとともに、困難事例への対応策等を協議し、連携した対応を円滑に実施できるようになった。

・リーフレット等については、市町村や学校、医療機関等に配布するとともに、各種研修会等で配付し、学校の先生や関係機関に相談窓口の周知を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・平成30年度より千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」において、「若者を対象とした支援プログラム」を開始した。適切な支援機関等が直ちにみつからず、家にこもりがちになっている若者(義務教育終了後から30歳前後まで)が、生活リズムを見直し、復学や適切な支援機関の利用など自立に向けて動き始められるよう支援する。

・また、同センターにおいて、面接相談を効果的に実施するとともに、保護者向けの勉強会や関係機関向け連携会議を引き続き行い、子ども・若者が新たな一歩を確実に踏み出せるよう支援する。

○参考

関連指標	[総合的な相談・支援体制の整備] 千葉県子ども・若者総合相談センター「ライトハウスちば」における相談件数					目標	増加を目指します (潜在的なニーズの掘り起こしを継続的に実施)
	現状(基準年H28)	(H29)	(H30)	(H31)	(H32)	(H33)	
	総相談件数 733件 うち面接相談件数 0件	総相談件数 1,313件 うち面接相談件数 238件					

4 委員意見

・SNSを活用した相談事業等は、連携・協働が必要となってきます。今後の検討をお願いします。

・LINEによる相談窓口を設けてはどうか。ニーズは高いと思われる。

・不登校や引きこもりの若者への支援を保護者も含めた支援となるよう推進していただきたい。

5 担当課回答

・SNSを活用した相談(LINEを含む)については、必要性や安全性等を考慮するとともに、他県の状況等、情報収集に努めてまいります。

・保護者等からの相談に現在も対応しています。特に、面接相談では、本人と保護者の合同面接を行ったり、それぞれと面接を行うなど、より効果的な支援となるよう工夫しています。

第2次千葉県青少年総合プラン 平成29年度事業評価シート

計画番号

事業名			
担当課・室・班名		問合せ先(電話番号)	

1 事業の概要

柱						
基本目標						
基本方策						
事業内容						
当初予算額(千円)	27年度		28年度		29年度	
決算額(千円)	27年度		28年度		29年度	
財源内訳	県単(○)	※2	・※1県単独事業の場合は○を付してください。 ・※2財源の内訳を具体的に記載してください。			
	※1					

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・事業内容に対する年度の実施状況を記載してください。

(2) 事業の成果

・基本目標の達成に対してどの程度効果があったか、また、事業を実施したことによる影響、他の事業への広がり等について、できるだけアンケートや参加者の声等に基づいて記載してください。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・事業を実施する上での課題や、課題を解決するために取り組むべき方策等について、記載してください。

4 委員意見

委員記入欄